

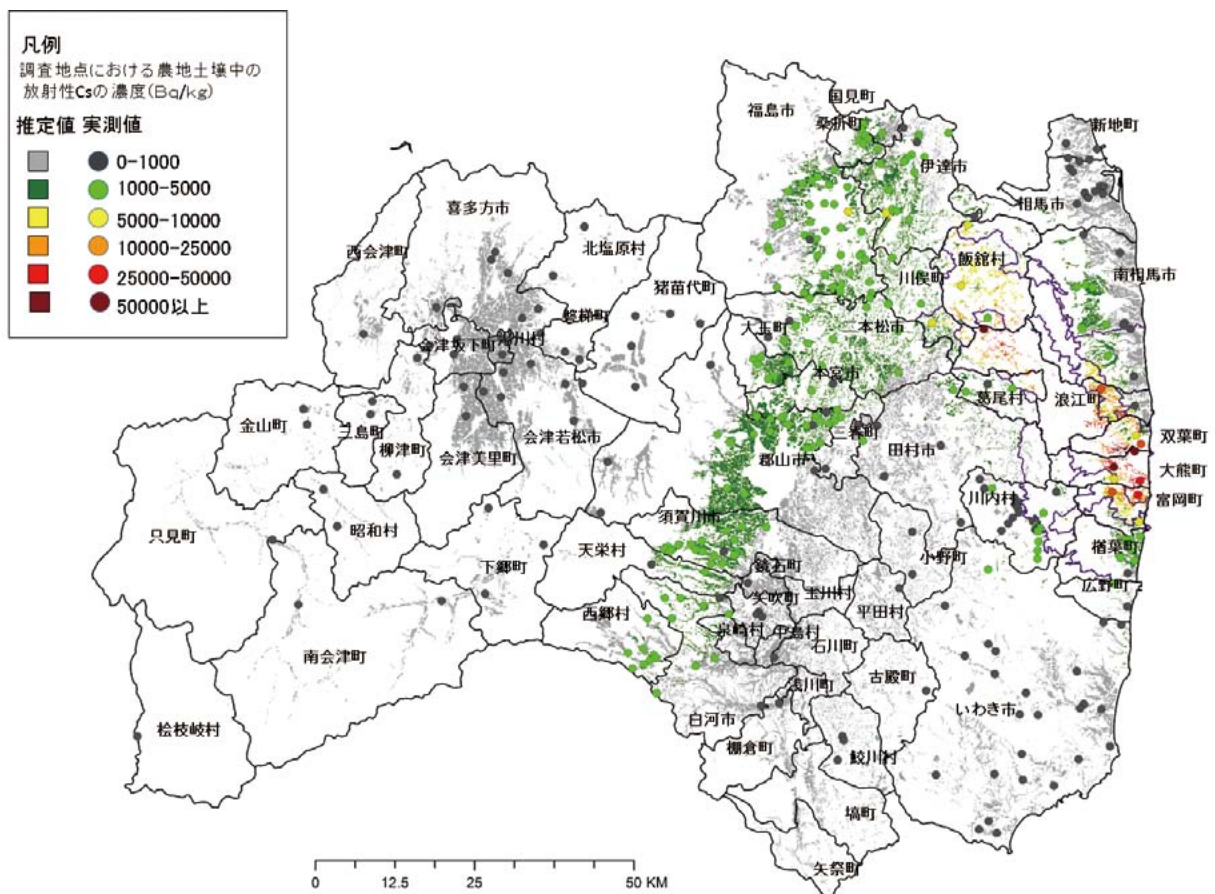
平成25年度における農地土壌の放射性物質濃度分布を公開

農環研では東京電力福島第一原発事故以降、農林水産省の委託を受け、福島県とその周辺県における「農地土壌の放射性物質濃度分布図」を作成してきました(農環研ニュースNo.93参照)。平成25年度についても福島県の約340地点の農地土壌において放射性セシウム濃度を測定し、その結果を取りまとめました。また、前回調査(平成24年度)と同一地点における放射性セシウム濃度を比較した結果、土壌中の放射性セシウム濃度は、例えば、避難指示区域外の水田で17%、避難指示区域外の畑で20%減少していることがわかりました(この期間の物理的減衰による放射性セシウム濃度の減少率は11%)。これらの減少率と、前回の調査における農地土壌の放射性物質濃度を乗じる

ことで、今回の調査地点以外の農地土壌の放射性セシウム濃度を推計して、平成25年11月における「農地土壌の放射性物質濃度分布図」を作成しました。

以上の内容は、平成26年10月に農林水産省より公表されています(<http://www.s.affrc.go.jp/docs/press/141017.htm>)。この「農地土壌の放射性物質濃度分布図」は、福島県全体ばかりでなく市町村別の地図もありますので、農地の除染や現場での栽培管理対策へも活用いただけるものと期待しています。なお、今後も引き続き、農地土壌の放射性セシウム濃度の推移を把握するための調査を進めていきます。

(農業環境インベントリーセンター 神山 和則)



福島県の農地土壌の放射性物質濃度分布図
(平成25年度11月19日に値に補正)

農環研ニュース No.105 平成27年1月30日

発行 独立行政法人 農業環境技術研究所 〒305-8604 茨城県つくば市観音台3-1-3

電話 029-838-8191 (広報情報室 広報グループ)

ホームページ <http://www.niaes.affrc.go.jp/> (バックナンバーを読むことができます)

印刷 (株) 高山